

第98回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第12日目 7月23日(土)

準々決勝		石巻市民球場		1時間 55分				打安点盗犠四三残失併															
東	陵	2	0	1	0	0	2	1	0	0	6	【東】	37	10	6	2	0	3	1	7	0	1	
登	米	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	【登】	27	2	1	0	1	1	6	1	1	1	
(球) 武田		(一) 石川		(二) 佐藤正		(三) 小山		▽本塁打		なし													
【東】		八鍬・加藤		菅原				▽三塁打		阿部新(登)													
【登】		菊地・西條・木川田		小野寺				▽二塁打		小畑2, 伊藤, 阿部		(東)											
▽暴投		なし		▽捕逸		なし				なし		(登)											

【評】

第1シード校の東陵とノーシードながら勝ち上がった登米の東部地区同士の試合。先手を取ったのは東陵。初回二死走者無しから3番小畑の二塁打を皮切りに、4番菅原、5番伊藤の連続タイムリーで2点を先取。3回には小畑の二塁打で追加点、6回には代わった西條から内野ゴロの間に2点、7回にもうまく足を絡めて1点を追加し試合を決めた。投げてはエース八鍬が登米打線を8回まで、内野安打1本、1四球の無失点に抑え、守備も無失策で快勝した。登米は9回に阿部新の三塁打を足がかりに1点を返すのが精いっぱいだった。その中でも先発した、主将で背番号10番の菊地が粘り強い投球を見せたのが光っていた。

準々決勝		石巻市民球場		1時間 40分				打安点盗犠四三残失併															
学院	榴ヶ岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	【学】	25	7	0	1	0	1	6	5	1	0	
東	北	0	4	1	2	1	0	x			8	【東】	29	14	6	2	3	2	1	8	0	1	
(球) 大槻		(一) 岩倉		(二) 小松		(三) 高橋正		▽本塁打		杉澤(東)													
【学】		吉田・木皿		早坂				▽三塁打		布施(東)													
【東】		渡辺・深町		布施				▽二塁打		高瀬		(学)											
▽暴投		木皿1(学)		▽捕逸		なし				佐藤翔, 伊勢		(東)											

【評】

シード校同士の対決となった準々決勝。先手を取ったのは東北。2回先頭6番布施のライトフェンス直撃三塁打を皮切りに、9番佐藤翔大の適時二塁打、1番杉澤の二点走本塁打などで4点を先制した。続く3回にも先頭5番伊勢が左線二塁打で出塁すると、手堅く犠打で三塁へ進め7番千葉の右前適時打で1点を追加した。その後も着実に加点しリードを広げた。投げては先発渡辺が榴ヶ岡打線に4回まで毎回安打を許すものの要所を三振で閉める力投を見せた。東北高校は、7回までほぼ完璧な試合運びを見せ、コールドで4年ぶり51回目のベスト4を決めた。